

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

観光戦略の1つに「ナイトタイムエコノミー」なる言葉を耳にするようになった。増え続ける訪日客を満足させるため、夜の楽し

みをたっぷり用意して、更なる誘客に結びつけようと全国各地で官民が取り組んでいる。「夜遊び経済」と訳される取り組みを体験しようと、2月上旬に元消防団団長経験者の皆さんと白馬山麓ツアーが企画した「糸魚川へ海鮮を食べに行こう」ツアーに参加する。

海外からのお客様も多かったが、若い世代も多く、そして南小谷駅乗車場所から、松本小谷村長のグループが乗車し、総勢40名近くの活気あるツアーの雰囲気は堪能する。車内

の会話「滞在中の企画が楽しみ」が強く印象に残る。終点の糸魚川駅前には、糸魚川青年会議所のメンバーが赤い法被で「いらっっしゃいませ・ようこそ糸魚川へ」の横断幕で出迎え、一人ひとりに

「食事の予約のない方は案内します」のアナウンスに糸魚川青年会議所の小出薫監事の案内誘導で「膳処・くろひめ」にて食事をスタート、地場魚の刺身と幻魚の丸干しをつまみに地酒で楽しい一時

海外旅行でのオフショナルツアーでも、目的の場所への移動には1時間以上を要する事は多い。今回のツアーに要した移動時間は、参加したお客様にとって大きな問題には感じられないはずだ。

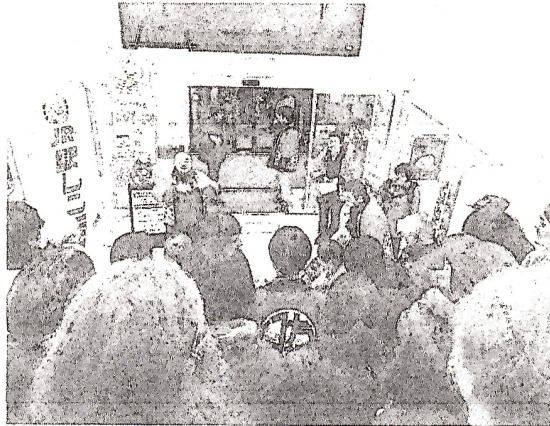
白馬山麓ツアーが企画する数多くのオフショナルツアー。今回は車の運行を担った白馬交通も、(株)プロジェクト白馬としてツアープロジェクトを企画。野沢温泉火祭りプラン・善光寺長野灯籠まつりプランなど、白馬を訪れる皆さんへの「遊び方の提案」を練り広げている。また村内多くの場所で、知恵を練ったイベントや企画が毎日展開されてきている。今後も地域が輝き続けるには、国内外のリピーターを視野に入れ、魅力ある滞在

地域が求めるリピーターを増やすには近隣地域との連携が不可欠だ

日本酒のサービス。活気ある歓迎が訪れる全員の心を温ませる。「携帯番号の入った緊急連絡先カード」を配布、受入れ体制も万全だ。「糸魚川の滞在は約3時間、ぜひ2力所は探訪して下さい」、

を過ごす。続いて駅近くのスナックで久しぶりのカラオケ。今回は、心行くまで糸魚川の夜を堪能する事ができた。接客でも信州では味わえない風情や情緒が、糸魚川では味わえた。

「遊び方の提案」を練



ヒスイ王国館内で記念撮影、帰りに額入れてプレゼント、糸魚川を売り込む戦略は見事だ

時間に結び付く取り組みが更に充実するように願った楽しい一日でもあった。
(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)